

17号
千地申

「運輸関係職場における今後の委員会活動の進め方 についての確認メモ」に関する団体交渉を行う！

これまで地本・支社間において「運輸関係職場における今後の委員会活動の進め方についての確認メモ」を締結してきました。これは当時、「委員会活動が過度になり、乗務に集中できず安全が阻害される恐れがある」などの声を受け、労使協議を経て「確認メモ」として労使で確認してきたものです。

近年は、委員会を積極的に取り組みたいとの声が増えています。しかし、一方で委員会が負担になっているとの声があることにも踏まえ、安全に業務を遂行するには、組合員の心身の健康に配慮し、明るく風通しの良い職場を目指すことが重要です。

地本は、委員会活動の進め方を、より現代に見合ったものへと改めたいとの会社からの提起を受け止め、団体交渉を行いました。



1. 運輸関係職場における今後の委員会活動の進め方については、職場の意見に踏まえて変更することとし、乗務に集中できる環境を整えたうえで実施すること。なお、自己啓発活動によって不利益扱いや安全が脅かされる事象が発生した場合は、是正をすること。

(回答)JR東労組申第15号の議論の中で会社が示した、今後の労使関係の基礎的条件6項目の趣旨を踏まえると、委員会活動等の業務改善活動は、社員一人ひとりの成長、会社の持続的発展、社員家族の幸福実現には必要不可欠である。

そのためにも、誰もが「気兼ねなく、安心して自らの意欲を伸ばしていくことのできる」職場風土づくりを目指して、これからも業務としてしっかりと支援していく考えである。

(組合)委員会活動について、今回職場の声をもとに変更するが「確認メモ」を締結した経緯がある。活動が過度にならず、疲労したまま乗務することの無いように求める。安全が第一である。

(会社)36協定に基づき労働時間管理には責任を持っており、休日出勤の日数も把握している。
疲労が蓄積されたまま乗務することの無いよう、必要な配慮を行い社員とのコミュニケーションを図っていく。安全第一である。

(組合)支援者(管理者)からの支援がなく「期限」だけが区切られる現実があると聞く。「やらされ感」では成長しない。支援者が社員にビジョンを示すと共に、アンケート等で生の声を掴むこと。

(会社)そのようなことが無いよう、管理者に引続き指導し、社員とのコミュニケーションを図っていく。

(組合)変形日勤で委員会活動を行うことがあるが、これは通常業務を「誰か」が代わりに担っているからこそ成り立つ。委員会活動を希望して取り組む社員がいる一方、通常業務を担う社員からすると、「自分は不利益になるのでは」という不安を持っている。通常業務を担う社員を尊重し、委員会活動に取り組む・取り組まないという違いによって不利益を生じさせないこと。

(会社)委員会に取り組むかどうかの違いによる不利益はない。乗務に就く社員を今後も尊重する。

(組合)休日出勤が発生しないようにすること。また、今回の見直しによって、「確認メモ」締結当時のような問題が多い状況に戻らないか危惧している。問題が起きた場合は労使で議論したい。

(会社)状況により休日出勤する場合もあるが、無理があってはならない。

委員会活動は「業務」であり、(所定労働時間外で)超勤がつかないことはあり得ない。労働時間管理は会社がしっかりと行っていく。組合の提起があれば議論していく。

改めて「自分の時間」ではなく「業務」であり、確認メモ締結当時の状況に後戻りさせないことを確認！正しく超勤をつけることを前提に、疲労が蓄積しないよう安全を第一に、支援者と本音の議論を重ねながら、業務改善に役立つレベルの高い委員会活動を目指そう！